

5月23日(月)

はい、主よ！

聖書朗読 ヨハネ21：16～25

私が弱いときにこそ、私は強いからです。

Ⅱコリント12：10

イエス様の死と復活の前に、ペテロはどんなことがあっても、他の弟子たちがしたようにイエス様を否認したりはしないと大胆なほどに宣言しました（ルカ22：31～34）。そういうこともご存知の上で、イエス様はペテロがイエス様を否認することを予言しました。そして時が来て、イエス様が予言した通り、ペテロは主を否認しました。

その後当然ながら、ペテロは落ち込み、自分を恥じました。彼は自分が情けなく、自分の弱さを痛感しました。

しかし復活の後、イエス様はペテロに「あなたはわたしを愛しますか」と尋ね、この頑固な弟子、ペテロを新しくされました。ペテロは自分はイエス様にあなたを愛しますと答えました。イエス様にそのように問われて、なぜそのようなことを尋ねるのかと思ったのでしょうか。おそらくは混乱して、自分はイエス様を愛しているのになぜそんな質問をするのかと傷ついたのでしょうか。ペテロは自分がイエス様を愛することはイエス様をご存じであると答えます。イエス様は尋ねるたびに、ペテロに「わたしの羊を飼いなさい」と言われました。あわれみ深いイエス様はペテロに「主よ、あなたを愛しています」と言うチャンスを与え、それだけでなく彼を永遠の働きへと招かれたのです。ペテロは自分自身の信仰の敗北を経験しましたが、今や十字架とイエス様の復活の後に神様の大いなる恵みを経験したのです。

なんとという救いの力！ なんと恵み深い招きでしょうか！

讃美歌 243

祈り 親愛なる主よ、私たちの否認を赦し、あなたの憐れみと招きに対して「はい、主よ」と言う勇気をお与えください。

イエス様の御名により、私たちは祈ります。アーメン。

ジェリー&リン・ジョーンズ
ミズーリ州 セントチャールズ

今日の日

2022年5月23日～5月29日

翻訳 鈴木 慈久

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

5月24日(火)

主の大きなめぐみ

聖書朗読 ローマ5：8～17

空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養ってくださるのです。

マタイ6：26

神様はあなたや私をすべての被造物の中で最高に価値のあるものだと宣言されました。どのくらいかですって？ とてつもない価値です！

人間の価値は、私たちがまだ罪人であった時に、神様が愛するひとり子をこの世で死に渡された時に立証されました。ローマ人への手紙の今日の箇所をもう一度読みましょう。神様はこの世界を創造されました。最後に人を造られて、それを良しとされ、お休みになられました。しかし、人は罪を犯しました。そして、その罪を赦してくださいるために、イエス様を送って下さいました。愛されている私たちは、神様のめぐみにより、イエス様によって赦され、救いに与りました。あなたは愛され、多くの恵みを受け取っているのです。たった一人の犠牲によって、すべての人がめぐみへと招待されているのです。

始まりに神様は全てを創造をされ、そして今日にいたるまで継続してご自身の被造物を気にかけておられます。神様は食べるものを与えられ、守り、そして「いのちと息と万物とお与えにな」ります(使徒17：25)。神様が私たちを愛して下さいるゆえに、全てのめぐみを超越した永遠のいのちへと導いて下さいました。

空の鳥は讚美の歌を歌います。私たちはどのように応えられるのでしょうか。「感謝にあふれて心から神に向かって歌」うことから始めて(コロサイ3：16)、そして次に神様に栄光を帰するために生きることができます。神様は私たちが本来受けるべきよりもはるかに大きな、そして私たちが想像できるよりもはるかに大きな愛をくださいます。

讚美歌 II 167

祈り 天のお父様、あなたが私たちを愛して下さいることに感謝します。私たちがあなたをもっと愛せるように助けてください。神様に栄光がありますように。

イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

キャロル・ローデス
コロラド州 プエブロ

5月25日(水)

頑固な樫の木

聖書朗読 ローマ 8：22～30

木はどれでも、その実によってわかるものです。いばらからいちじくはとれず、野ばらからぶどうを集めることはできません。 ルカ 6：44

私たちは、家の庭を占める他のナラの木からある一本の奈良の木を選び分けて、それを「頑固な樫の木」と呼んでいます。毎年冬、他の木が葉を落としてから長いこと経っても、その強情な木は葉をつけたままです。その葉は乾燥して、茶色になっていて、触るだけで粉々になります。しかし、どんなものも、この木がもつ特別の特徴を変えることはできません。この「頑固な樫の木」は独特な個性を持っている木なのです。

早春のころ、ついに、新たな成長がその木の枯れた葉を脱ぎ捨てることを強要し、古い葉は落ちていきます。葉はあまりにも脆いので、地面につく頃には破片になっています。

その「頑固な樫の木」は私に、自分自身の「しがみつき」を思い出させます。私たちが神様に明け渡そうともがいているものはなんのでしょうか？ 私たちはプライドや自己憐憫にしがみついているのでしょうか？ 私たちは隠された罪、過去の罪悪感、愛する者への心配にしがみついているのでしょうか？ 時に、私たちは色々な物にしがみついてしまいます——断固として自分自身でやり遂げようとしてしまいます。

神様の民として、私たちは多くのものを手放すことができます。私たちが自分の悩みを神様に明け渡すとき、神様は私たちを成長させて下さいます。私たちが何を手放すべきでしょうか？ 手放すべき物を主に明け渡し、神様が自分のことを顧みてくださると信じましょう。

讚美歌 251

祈り 父なる神様、讚美と栄光のうちに、私たちは自分が心や体に背負っている物を見極め、必要でないものは手放すことが出来るようにして下さい。そしてあなたにいのちを捧げることを教えてください。

イエス様の御名によって祈ります。アーメン。

ラニー・ロピケット
テキサス州 シプレス

5月26日(木)

神様の正義とあわれみ

聖書朗読 ローマ 9:14~18

神は、私たちが行なった義のわざによってではなく、ご自分のあわれみのゆえに、聖霊による、新生と更新との洗いをもって私たちを救ってくださいました。

テトス 3:5

子どものころ、私はカウボーイごっこが大好きでした。私はロイ・ロジャースになりきるのが最も多かったです。よく覚えているある夏の昼下がりに、私は友達と一緒にちょっとした創作劇を作り、その冒険に夢中になっていましたが、その冒険のためには自分の家の庭と隣のトウモロコシ畑の間のワイヤーフェンスを通り抜ける必要がありました。私は父からワイヤーカッターを借りて、フェンスに穴を開けました。私たちはトウモロコシ畑に迷路を作って、悪者を追いかけるロイの真似をすることに夢中になっていました。

その日が暮れたころ、父が私を、切ったフェンスの持ち主である隣人のブラウンさんのもとに連れて行ったときに、私はあわれみのうちに教訓を得ました。父は自分たちがフェンスの穴を直し、荒らしてしまったトウモロコシ畑の損害を支払うと申し出謝りました。すると、ブラウンさんはトウモロコシの損害への弁償金を受け取することを拒否しました。ブラウンさんはどちらにせよ、その場所のトウモロコシはあまり美味しくなかったし、他にもたくさんあるので、収穫するつもりはなかったのだと言いました。その寛大さに大変びっくりしました。

そして、私たちの父なる神様は誰よりもあわれみ深いお方です。神様は、イエス様が十字架の上で死なれた時、私たちの罪のために究極の代価を払われました。私たちは赦しを求めて神様のもとに行き、神様の恵みは私たちの罪を覆ってくださいます。私たちはよい、慈悲深く、そして親切な父を知っていることを喜ぶことができます。

讚美歌 356

祈り 親愛なるお父様、あなたのあわれみの川は止まることはありません。どうかあなたのあわれみの雨を私たちの上に降らせてください。あわれみの内に、あなたは手を伸ばしてください、私たちを引き上げてくださいます。イエス様の御名によって、祈ります。アーメン。

ポール・トーマス
カリフォルニア州 ユカイバ

5月27日(金)

霊の鎧

聖書朗読 ローマ 12:9~21

彼は、心のうちでは勘定ずくだから。

箴言 23:7

私たちはある状況や人々のひどい態度によっては、自分自身がこんなに醜くなれるのかと思える態度をとってしまうことがあります。ですから、毎朝、玄関のドアから出ていくとき、私はこの聖句を大きな声で言うことを習慣づけています。「聞くには早く、語るにはおそく、怒るにはおそいようにしなさい」(ヤコブ1:19)。これと言うことは、私の心をあらゆる霊的な戦いに向けて備えてくれます。

イエス様はいつも、弟子たちに教え、真実を示していました。イエス様は弟子たちに、嘘ではなく真実を知り、語ることは自分たちを悪い思いから解放するのだということを知らせました。先程の聖句を自分が外へ出る前に口に出すのを想像してみてください。それは毒の考えや憎悪に満ちた状況に対する鎧となるのです。

賛美することは、私たちが毒の考えを乗り越えるもう一つの良い方法です。「詩と賛美と霊の歌をもって、互いに語り、主に向かって、心から歌い、また賛美しなさい」(エペソ5:19)。

神様は私たちに、聖句(ヤコブ1:17)と歌を覚える能力をくださいました。今日、あなたの頭と心を聖句と霊の歌で満たしましょう。それは必ず変化をもたらします!

讚美歌 513

祈り 親愛なる天のお父様、私が心の中をあなたで——あなたのいのち、あなたの愛、そしてあなたの目的で満たすのを助けてください。

イエス様の御名によって、祈ります。アーメン。

ロン・グロス
コロラド州 カノンシティ

5月28日(土)

生きて歩く

聖書朗読 Iコリント 6:18~20

キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、さまざまな情欲や欲望とともに、十字架につけてしまったのです。もし私たちが御霊によって生きるのなら、御霊に導かれて、進もうではありませんか。 ガラテヤ 5:24~25

私たちはキリストのうちにバプテスマを受けたとき、聖霊の賜物を受け取りました。どのように聖霊のうちに生きればよいのか？ それはいい質問です。

聖霊のうちに生きることは、私たちの内にある聖霊を通じてキリストにどんどん近づいていくということです。私たちはロボットではありません！ 私たちはキリストのうちにバプテスマを受けることを選んだのです。そして私たちのうちに宿って下さっている聖霊は、私たちにその選択を思い起こさせます。「私たちが神の子どもであることは、御霊ご自身が、私たちの霊とともに、あかししてくださいませ」(ローマ8:16)。

私たちが神様のことばに目を留めたときこそ、この神と子のつながりを思い出させられます。この、聖霊の息を吹き込まれたいのちのことばが、私たちが神様の子どもであることを保証してくださいませ。

私たちはバプテスマを受けることを選びました。私たちは聖句を熟考することを選びました。私たちは自分たちが神様の子どもであることを思い出させるものに注意を払うことを選びました。私たちが一つ一つ選択して来た道には理由があるのです。

私たちは自分が誰にいのちを捧げたのかを知っているので、そのお方の愛の行いに倣うことを願うのです。私たちは自分の足で歩いて行動し、困っている方に与え、神様が私たちに進む道に置かれた助けが必要な人をお助けすることを願っています。私たちの中に聖霊が宿って下さっていることをしっかりと自覚し、そのことに集中し、行動を起こし、人に手を差し伸べることに自分の筋肉を動かすことが出来るというのは、神様からのすばらしい贈り物です。

讃美歌 517

祈り 親愛なる天のお父様、私の目を開き、自分の内での聖霊の働きを見ることができるようしてください。私の行動を成長させ、私の思いをあなたに向けさせてください。

イエス様の御名によって、祈ります。アーメン。

ロン・グロス
コロラド州 カノンシティ

5月29日(日)

苦難の中の平安

聖書朗読 IIコリント 1:3~7

私たちの主イエス・キリストの父なる神、慈愛の父、すべての慰めの神がほめたたえられますように。神は、どのような苦しみのおきにも、私たちに慰めてくださいます。こうして、私たちも、自分自身が神から受ける慰めによって、どのような苦しみの中にいる人をも慰めることができるのです。 IIコリント1:3~4

子どもとして、私はポリオのパンデミックを通り抜けたことをはっきり覚えていますが。それは恐れとヒステリーに満ちた時代でした。私は希望を持っている人と、ただ怒りだけを持っている人との違いを見ました。それは混乱の時代で、人々はその状況に対してそれぞれ異なる形で反応していました。

希望を持っていた人々は、自分たちの考えに沿って行動しているのだと、私は学びました。彼らは希望に満ちていると知っている人々の話に焦点を置きました。怒りに生きている人々は冷笑主義に襲われて消極的な話や疑いばかりを共有しているように見えました。

イエス様は神様とその御力について話しました。イエス様は静かな奇跡、癒し、優しさをもって恐れと消極性に立ち向かいました。

あなたは、最近の嵐の中で、あるいは遠くにある嵐の中で神様がくださった平和を覚えていますか？ 私たちは自分たちがどれほど怯えていたかを思い出して動揺するかもしれません。自分がどれほど勇敢であったかを思い出すことを実践しましょう。あるいは、近くにいる人がどれほど勇敢で、その勇敢さがどのように自分を落ち着かせてくれたかを。

イエス様はご自身が誰に属しているかを知っており、またご自身の使命を知っておられました。イエス様は恐れませんでした。イエス様は嵐を鎮め、弟子たちを落ち着かせてくださったのです。

讃美歌 338

祈り 親切な主よ、私たちの世界はあなたの平和を必要としています。私たちには、あなたの平和が必要です。私たちを、あなたの英知と勇気へと導いてください。

イエス様の御名によって、祈ります。アーメン。

スーザン・K・ギボニー
カリフォルニア州 マリブ